

アメリカより愛をこめて 世界67カ国で信頼と実績の50年

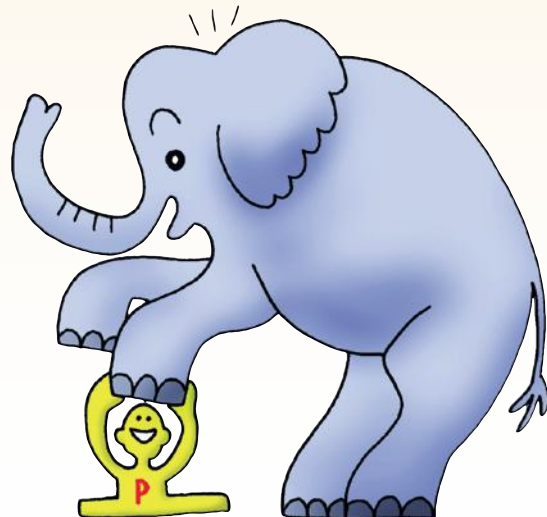
アクションパッドは、医学博士が開発して以来、世界中の現場の声を基に改良を続け、「世界67カ国で50年以上のロング・セラー」を誇ります。そんなアクションパッドの数ある特長の中から、主なものだけをご紹介します。

ポイント1

3つの圧力分散能力

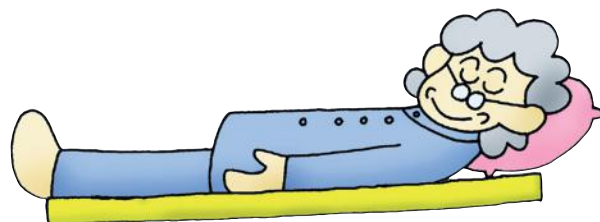
●象が乗っても底つきしない●

アクションパッド(厚さ2.2cm)を硬いテーブルの上に置いて、膝で全体重をかけたとしても、膝が硬いところまで行き着くことはありません。アクションパッドの底つきの限界は600kgと驚異的に高く、象が片足で踏みつけても耐え得ます。底つきは、それ以上圧力分散できないという限界を示し、簡単に底つきするようでは十分な圧力分散はできません。“柔らかいのに底つきしない”そんな不思議なアクションパッドは、いつも体を優しく支えます。



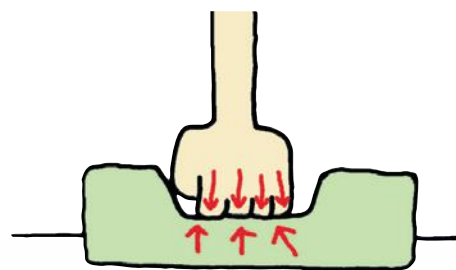
●押し込んでも硬くならない●

ゲルやシリコン系の商品の中には、押し込んだ時に材質そのものが硬くなってしまふものがあります。これでは体重がかかった時に底つきと同じような状態になってしまい、十分な圧力分散ができません。アクションパッドの柔軟性は、どんなに押し込んでも損なわれることなく、いつも体を柔らかく支えます。



●押し返さない●

体重をかけた時の押し返す力は圧力ですので、床ずれの原因になってしまいます。エアーマット(空気圧)やウォーターマット(水圧)など押し返す力の強いタイプの商品は、その力を十分にコントロールする機能が必要ですが、押し返す力がほとんどないアクションパッドは、使われる方に圧迫感を感じさせず、いつも体を快適に支えます。



ポイント2

自立を損なわない安定性

代表的な床ずれ防止具エアーマットは、優れた実績があり多くの床ずれ防止具に貢献してきました。しかし、そのクッション性は、体動能力の妨げや、『ふわふわして落ちつかない』という不快感の原因となることもあります。圧力分散能力と自立とのバランスを重視するアクションパッドは、余分なクッション性をもたず、ご使用者の体動やリハビリ運動、介護の妨げになることがない安定性で、床ずれを防止しつつ自立を支援します。

